令和５年度第２回本別警察署協議会議事概要

１　開催日時
　令和５年10月17日（火）午後１時30分から午後３時00分まで

２　開催場所
　本別警察署会議室

３　出席者
⑴　協　議　会　６人（定員６人）
　会　　長　田　西　喜　代
　副　会　長　池　田　　靖
　委　　員　伊　藤　貴　之
　委　　員　新　津　初　男
　委　　員　小　林　雅　子
　委　　員　志戸田　由美子

⑵　警　察　署　６人
　署　　長　堀　江　清　尚
　副　署　長　松　岡　貞　行
　刑事・生活安全課長　片　桐　秀　樹
　地域・交通課長　佐　藤　理　宇
　交通係長
　警務係長

４　会議概要
⑴　会長挨拶

⑵　本別警察署長挨拶

⑶　懲戒処分等報告

⑷　業務推進状況等説明
　ア　刑事・生活安全関係
　イ　地域・交通関係

⑸　諮問事項
　夜光反射材の着用促進

⑹　意見交換
■　委員
　本別警察署管内における刑法犯認知件数が、昨年と比較して増加している要因についてどのようなことが考えられるか伺いたい。
■　警察回答
　粗暴犯や窃盗犯等が増加しており、原因として、コロナ禍における各種行動制限が緩和され、人の流れや経済活動が再び活発化したことが１つの要因として考えられる。
　また、警察が各種事案に積極的に介入し、あらゆる法令を駆使して事件化・問題解決を図っているという積極的姿勢が数値となって現れていると考えている。

■　委員
先程説明がなされた住居侵入事件について伺います。
当時、玄関に鍵は掛かっていなかったのでしょうか。
■　警察回答
被害当時、無施錠であった。
防犯対策上、玄関等は必ず施錠するようお願いしたい。

■　委員
高齢者の免許返納について伺います。
高齢者の中には、地理的・距離的理由等により、警察署に赴いて手続を行うことが困難な方もいらっしゃり、免許返納が進まない１つの要因となっていると考えています。
必ず警察署に赴いて手続をしなければならないのでしょうか。
■　警察回答
警察官が、ご自宅に赴いて返納手続を行う、希望者が多い場合には当該地域に出張して返納手続を行う等の対応をしていることから、必要があれば当署に相談願いたい。

■　委員
鹿との交通事故防止について伺います。
先般、他市町村を運転していた際、鹿の出没が多いエリアの道路上に注意喚起の標示がなされている箇所があった。
町民だけでなく、町外の方への注意喚起としても非常に有効な手段であると考えられることから、本別警察署管内での導入を検討願いたい。
■　警察回答
当署においても道路管理者と協議の上、鹿との交通事故が発生したエリアの道路上に注意喚起の標示を行ったほか、管内の小中学生から募った標語入りの看板を設置するなど、鹿との交通事故防止対策を推進している。
引き続き関係機関等と連携の上、鹿との交通事故防止対策を推進していく所存である。

■　委員
本別警察署管内における交通事故について、管内住民による事故と管外住民による事故、どちらの割合が多いのか伺いたい。
■　警察回答
この場で正確な数値を申し上げることはできないが、本年、当署管内で発生した重傷事故を分析すると、旅行者等の管外住民による事故の割合が多い傾向にある。

■　委員
先般車両を運転した際、自車の前方を低速で走行する、ふらつく等しながら走行する不審な車両がおり非常に困惑した。
この様な車両と遭遇した場合における警察への通報の是非について伺いたい。
■　警察回答
不審者・不審車両等を目撃した際は、躊躇することなく110番通報願いたい。

⑺　警察に対する要望・意見
■　委員
管内３町において熊の出没事案が増加傾向にあると感じている。
熊の出没に関する通報がなされた場合、警察ではどの様な対応を行うのか伺い

たい。

そして、今後の熊出没事案に対する対策についてもお願いしたい。

■　警察回答

出没地点周辺居住者に対する注意喚起、パトロール、報道発表、役場に通報し、職員による痕跡等の確認、注意喚起看板の設置を依頼している。

また、北海道警察公式防犯アプリ「ほくとポリス」を活用して、熊の出没に関する情報のほか、様々な防犯情報を発信していることから、導入について検討願いたい。

更に、関係機関との連携強化や熊出没時における対処能力の向上を図るべく関係機関と合同での訓練を実施したい。

⑻　次回開催予定

令和６年２月第３週頃を予定